

第8回理事会・第3回臨時社員総会議決

平成27年度

事業計画書

平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで

公益社団法人 新化学技術推進協会

平成 27 年度事業計画書

「基本方針」

新たな化学技術の開発推進によりイノベーションを創出し、我が国の諸産業の発展ならびに国際競争力強化とプレゼンスの向上を図り、社会の持続的発展と経済の健全な成長に寄与することを目指す。

この目的を達成するために、グリーン・サステイナブル ケミストリー (GSC) を基盤として、以下の 4 項目を柱として、長期的展望をもって継続的かつ一貫性のある活動を推進する。

- ① 化学技術戦略の立案と社会への発信および政策への提言
- ② 化学技術に関する交流・連携の推進と、情報の発信
- ③ GSC の普及活動や若手研究者への研究支援
- ④ 人材育成などの提案と事業の推進

「平成 27 年度事業方針」

基本方針に基づき、以下の具体的活動を推進する。

- ① 平成 23 年度に策定した「化学産業が目指す 5 ヶ年の化学技術戦略」に基づいて平成 25 年度まで議論し取りまとめた提言を踏まえて、それらを深耕、発展させた議論を継続して進める。また、新たなプロジェクト提案や知的財産に関する調査・議論を推進する。
- ② 我が国化学産業の国際競争力強化に資する産学官の交流連携を推進する。特に、ユーザー産業、異業種などとの情報交流・連携機会を創出するとともに、省庁やアカデミアなどとの情報交換を密にし、産学官一体となった活動を推進する。また、海外の JACI のカウンターパートとなる団体との交流推進を図るなど、協会活動の国際化を目指す。さらには、化学産業の社会への貢献および協会活動の成果を広く社会に発信する広報活動を一層強化するとともに、会員サービスの充実を図る。
- ③ 本年度主催する「第 4 回 JACI/GSC シンポジウム 第 7 回 GSC 国際会議」を確実に遂行するとともに、新時代に沿った新しい GSC 活動の理念・基

本指針の提案を国際会議に提案する。また、GSC 賞・GSC 奨励賞制度の改訂を行い、GSC の普及啓発を推進する。

- ④ 若手研究者に対する研究支援を継続して実施するとともに、初等から社会人までの一貫した化学人材育成を推進する。具体的には、従来から実施してきた大学・大学院対象のキャリアパスガイダンスの横展開を進めるとともに、中高理科教育に関わる支援ニーズを踏まえて、協会の特長を活かした化学人材育成活動の拡充を検討する。

「事業実施内容」

<公益事業>

1. 新化学技術に関するメッセージの発信、テーマの発掘と調査研究・普及啓発、人材育成等に関する事業（公1）

(1) 新たな化学技術に関するメッセージの発信（公1-①）

化学技術の最新動向など新化学技術に関するメッセージを広く社会に情報発信するため、シンポジウムやフォーラムなどを開催する。特に本年度は、GSC に関わる国際会議と共催する「第4回 JACI/GSC シンポジウム 第7回 GSC 東京国際会議」を7月に開催する。また、ニュースレター、ホームページ等を活用した広報活動を通じて、化学産業からのメッセージを社会に発信する。さらに、海外における JACI カウンターパートの調査と連携を進め、協会活動の国際化を推進する。

（企画運営会議）

(2) 新化学技術に関する調査研究及び普及啓発の推進（公1-②）

「先端化学・材料」「ライフサイエンス」「電子情報」「エネルギー・資源」「環境」の5領域について、新化学技術に関する調査研究、普及啓発事業を行う。また、最新情報を講演会やセミナーの開催により伝達するほか、ウェブ配信等の手段でリアルタイムに講演内容を広く発信する。また、ユーザー産業・異業種などとの情報交換・交流を図り、化学産業が目指すべき将来方向について広い視点で議論を進める。

（企画運営会議・フロンティア連携委員会・技術部会）

2. 他団体等との協働により推進する産学官連携事業及びアカデミアを対象とした研究助成事業（公2）

(1) GSCの普及推進（公2-①）

グリーン・サステイナブル ケミストリー(GSC:人と環境にやさしく、持続可能な社会を支える化学及び化学技術)の普及・啓発活動を推進する。特に、GSCに関わる国際会議を平成27年7月にわが国で当協会が主体となって開催する。また、これからのGSC活動の進め方に関する考え方を国際会議の場で提案し、推進を図る。

（GSCN会議・GSCN運営委員会）

(2) 産学官連携による人材育成支援（公2-②）

大学・大学院生に対して行っているキャリアパスガイダンスの拡充等を検討する。また、理科教育支援を求める小中高のニーズを調査し、支援可能企業との橋渡しや教材作成など、協会の特長を活かした支援の充実に努める。

（企画運営会議・戦略委員会・人材育成部会）

(3) 関連団体との協働（公2-③）

「夢・化学21」の活動を推進するとともに学協会等が実施する新化学技術の推進のためのイベント等に積極的に参加し、連携を強化する。

（企画運営会議・戦略委員会）

(4) 研究奨励賞の授与（公2-④）

新産業の創出や社会の持続的発展に資する研究を行っている40歳未満の若手研究者に対する研究支援を引き続き行う。また、独創的萌芽研究から出発して、一定の成果を出しつつある研究の支援制度を新たに実施し、継続的な支援体制を構築する。

（企画運営会議・フロンティア連携委員会・技術部会）

3. 新化学技術に関わる戦略の立案および社会・国レベルの課題に関する政策提言を行う事業（公3）

平成23年度に策定した「化学産業が目指す5ヶ年の化学技術戦略」に基づいて、将来に向けて化学産業が貢献すべき7課題、「食料・水の安定確保」、「エネルギーの確保」、「原料資源の確保」、「多様化する市場ニーズへの対応」、「将来のライフスタイルを先取りした製品・サービス等の提供」、

「産業プロセスの高効率化」、「地球環境と社会・産業の共生推進」について、策定時からの社会ニーズ変化も踏まえ、より深耕した議論を進め、提言としてまとめる。

(企画運営会議・戦略委員会・戦略提言部会)

<その他の事業>

4. 新化学技術の振興に向けた会員間の協働と連携による事業 (他 1)

(1) トップセミナーの開催 (他 1-①)

会員企業のトップ経営層の交流と意見交換の場としてトップセミナーを開催し、タイムリーな話題提供を行う。

(企画運営会議)

(2) 新化学技術に関する戦略的研究開発プロジェクトの企画・立案と提案 (他 1-②)

戦略提言部会やフロンティア連携委員会との連携を深め、技術シーズ、社会ニーズ両面から、将来の化学産業の発展に貢献する国プロ提案を目指した活動を継続する。特に、重点的なテーマについては、積極的に可能性検討のためのワーキンググループを立ち上げ、国プロ化検討のための研究会への移行を図る。

(企画運営会議・戦略委員会・プロジェクト部会)

(3) 化学分野の知的財産に関する情報の共有および議論 (他 1-③)

化学産業全般に共通性の高い知的財産事項に関する調査、研究、および議論を引き続き進める。また、知的財産に関する化学産業の意見を、社会、行政に積極的に発信していく。

(企画運営会議・戦略委員会・知的財産部会)